

「スマサト」とは…

スマホは今や持っていて当たり前、遊びも就活もスマホなしではできません。

しかし、児童養護施設で暮らす子どもの30.7%は^{*スマサト調べ}スマホを所持していません。

さまざまな理由で児童養護施設や里親の下で暮らす“社会的養護下”の子どもたち。

経済的な理由や、周囲の大人の理解が得られないことによりスマホが持てないことは「子どもの権利の侵害」と考えます。

スマホ里親ドットネットは、利用料金の寄付をしてくださる「スマホ里親」と協力して、子どもたちがスマホを持てるように支援しています。



特定非営利活動法人 スマホ里親ドットネット



千葉県千葉市美浜区中瀬2丁目6番
地1 WBGマリブイースト12階



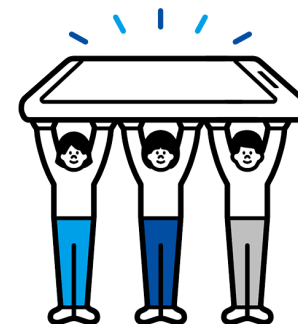
<https://www.suma4satooya.net/satooya/>



社会的養護の子どもに スマホを届ける



スマホ里親ドットネット

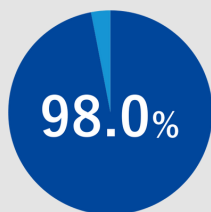


さまざまな理由でスマホを持てない子どもがいます。

ご支援をお願いします。

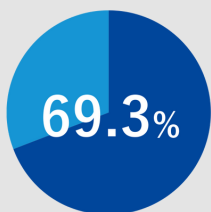
児童養護施設や自立援助ホーム、 里親の下で生活する子供たちに スマホを届けたい

児童養護施設等の社会的養護の下で
暮らす子どもたちは、
簡単にスマホを持っていない現状があります。



高校生全体

高校生の
スマホ
所持率



児童養護施設に
入所する高校生

自力でスマホの費用を捻出するのが、
スマホ所持の条件になっている施設等も
多くあり、スマホを持ちたい子どもは
学校の部活動や進学のための勉強をしたく
てもアルバイトを優先せざるを得ません。

今の子どもたちにとって スマホは可能性を広げる鍵。

スマホは、単なる通信手段ではありません。
現代の子どもたちにとってスマホは、
「自分の可能性を広げる鍵であり、
人と世界をつなげる入口」です。

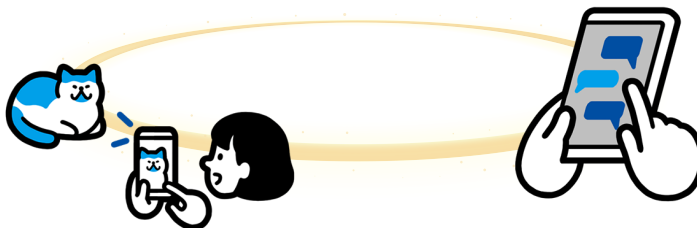


子どもたちの声



スマホを持っていなかったのは、自分ともう一人だけでした。でも、もう一人の子が持ち始めて…。それから友達と遊ばなくなりました、約束ができないから。

スマホを借りて、まずダウンロードしたのはLINEです。友達とLINEでつながれたことで、学校を休んでいきにくくなっていたときに「学校においでよ」とLINEで友達からメッセージが来て、また行けるようになりました。



修学旅行でスマホを持ってないのは私だけでした。スマホを持つためにはバイトしないといけない。部活を諦めてバイトしてたけど、学校以外の時間しか働けないのでなかなかハードルが高くて…。

スマホを持てたおかげで遠出ができるようになりました。電車やバスの運行状況もわかって通学がとてもしやすいです。友達と予定を決めたり写真撮ったり、みんなスマホでするので今はとても助かっています。



～ご支援のお願い～

子どもたちが利用するスマホの
毎月の利用料金をご支援いただく
「スマホ里親」を募集しています。
5000円の寄付で1人の子どもが
1か月スマホを利用できます。



寄付の方法

① お振込み

京葉銀行 幕張支店 普通 5567801
特定非営利活動法人スマホ里親ドットネット
理事 櫛田 啓

② クレジットカードで寄付



Syncable

←こちらのサイトを
経由して決済できます

③ ソフトバンク携帯使用料と 一緒に寄付

電話番号とパスワードの
入力が必要です→



未来の社会を担う子どもたちのために、
ご支援とご理解をどうぞよろしくお願いいたします。